新居浜港長期構想【概要版】

令和8年10月
新居浜港務局（新居浜港港湾管理者）

Hello! NEW 新居浜

写真：四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所（令和4年2月撮影）

新居浜港長期構想の背景・目的

長期構想

目標年次 概ね20～30年後

港湾計画の改訂に先立ち、港湾利用者、関係行政機関、住民など様々な主体の意見・要請をもとに、概ね20年～30年先の将来の長期的視野に立った総合的な港湾空間の形成とそのあり方を構想・ビジョンとしてまとめるもの

港湾計画

目標年次 概ね10～15年後

10～15年程度先を目標とした港湾の能力、港湾施設の規模や配置などを定めるもの

新居浜港港湾計画（平成11年7月 改訂）

- 新居浜港港湾計画（平成28年 軽易な変更）
- 新居浜港港湾計画（平成30年 軽易な変更）
- 新居浜港・東予港（東港地区）港湾脱炭素化推進計画（令和5年9月策定）（関連計画）

- 新居浜港の港湾整備は平成11年7月に改訂された港湾計画（目標年次：平成20年代半ば）に基づき進めている
- 既定計画は目標年次を大幅に経過し、我が国の港湾の情勢や新居浜港を取り巻く動向が変化している中、新たな要請や課題が顕在化している
- そのため、新居浜港を取り巻く状況及び各種課題を整理し、概ね20～30年後を見据えた長期構想を検討する必要がある

新居浜港長期構想（今回策定）

港湾計画改訂

基本理念

＜基本理念＞
新居浜港が発展してきたこれまでの歴史や現在の利用状況を背景に、将来的に想定される社会経済情勢の変化や、新居浜港の背後圏に果たすべき役割を踏まえ、新居浜港の長期的なビジョンとしての基本理念を以下のとおり定めた。

基 本 理 念

あかがねの歴史をつなぎ、未来を見据え、時代に即して地域を支え、進化し続ける港

- 新居浜港は住友系の工業港として発展し、企業城下町として新居浜市とその周辺地域の産業や経済の発展に貢献してきた。
- 脱炭素化の実現や、DX等新たな技術の開発、労働力不足など、社会情勢が大きく変化していく中で、これらの変化に対応しながら、新居浜市や周辺地域の発展、地域住民のウェルビーイングに寄与できる港をめざす。
- 新居浜港の課題や要請を踏まえたうえで、新居浜港の強み・特性を活かし、社会経済及び災害の不確実性に柔軟に対応できる拠点港としての発展を目指す。

新居浜港の目指すべき将来像

基本理念　あかがねの歴史をつなぎ、未来を見据え、時代に即して地域を支え、進化し続ける港

【課題①】船舶大型化や貨物需要増大に対応した港湾機能の不足
【課題②】モーダルシフトの進展に対応した港湾機能の不足
【課題③】港湾物流ネットワークの連携不足
【課題④】産業構造の変化への対応
【課題⑤】港湾物流倉庫や企業誘致のための産業用地の不足
【課題⑥】デジタル技術の活用への対応
【課題⑦】港湾労働者不足や労働環境の改善への対応

国際競争力強化

モーダルシフトの進展

労働力確保

技術革新・DXの推進

物流・産業 将来像①

臨海工業・地域経済の持続的発展と国内外のシームレスな物流を支援する新居浜港

環境・エネルギー 将来像②

脱炭素に貢献し次世代へつなぐ新居浜港

防災・維持管理 将来像④

強く、しなやかで、くらし・産業を支える強靭な新居浜港

観光・交流 将来像③

瀬戸内の自然・産業・歴史をつなぎ、人々が集い、交流する新居浜港

【課題⑬】切迫する大規模自然災害や気候変動への対応
【課題⑭】港湾施設の老朽化・陳腐化への対応

港湾施設の維持・更新

国土強靭化

地域活性化

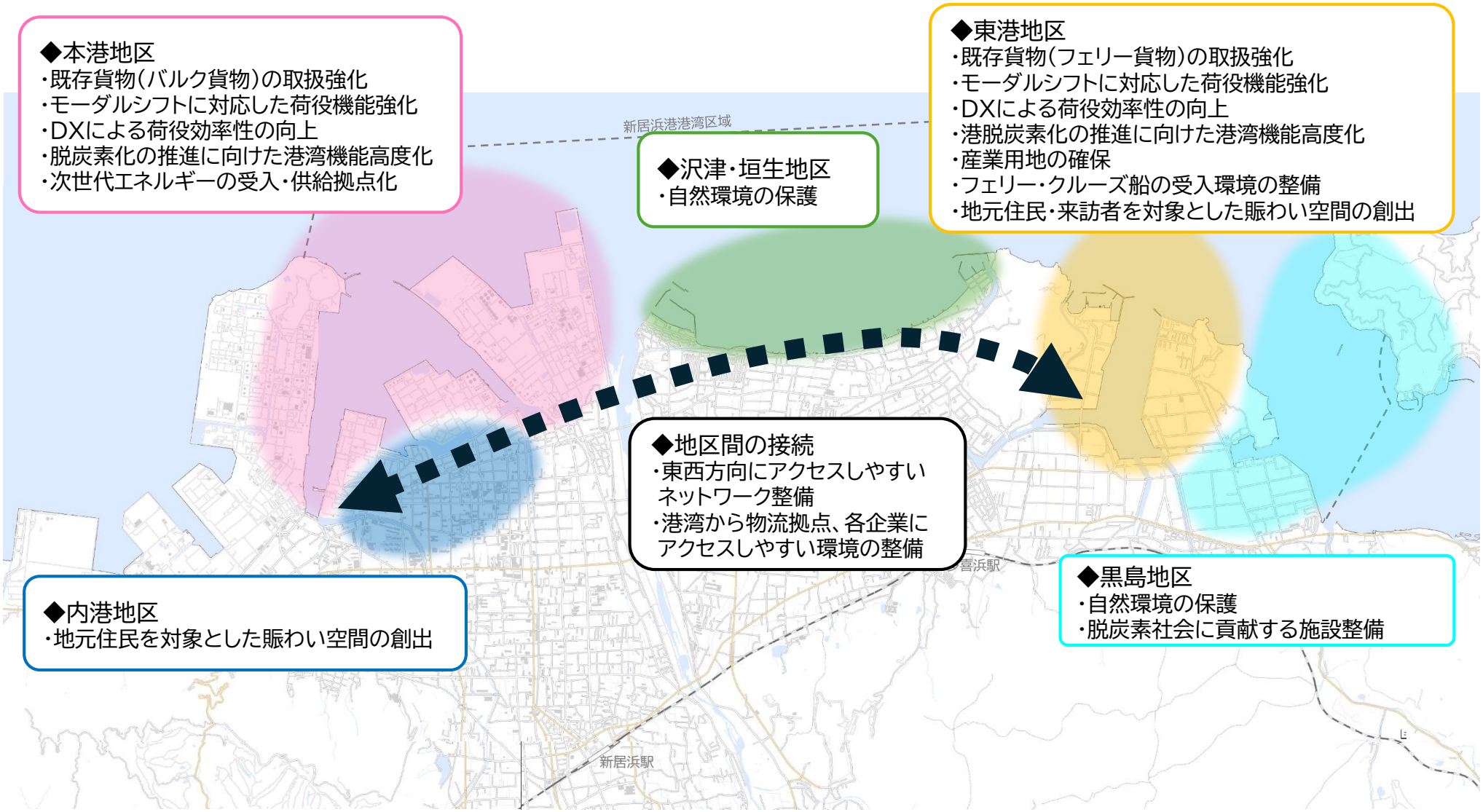
【課題⑧】脱炭素社会の実現に向けた次世代エネルギーへの転換拡大への対応
【課題⑨】豊かな自然環境と産業との両立

カーボンニュートラルの実現

【課題⑩】自然・産業・歴史の地域資源を活用した賑わいの創出
【課題⑪】地元住民を中心とした来訪者の多様なニーズへの対応
【課題⑫】国内外の観光需要に対応するための受入環境の整備

将来像実現に向けた戦略と取組の方向性

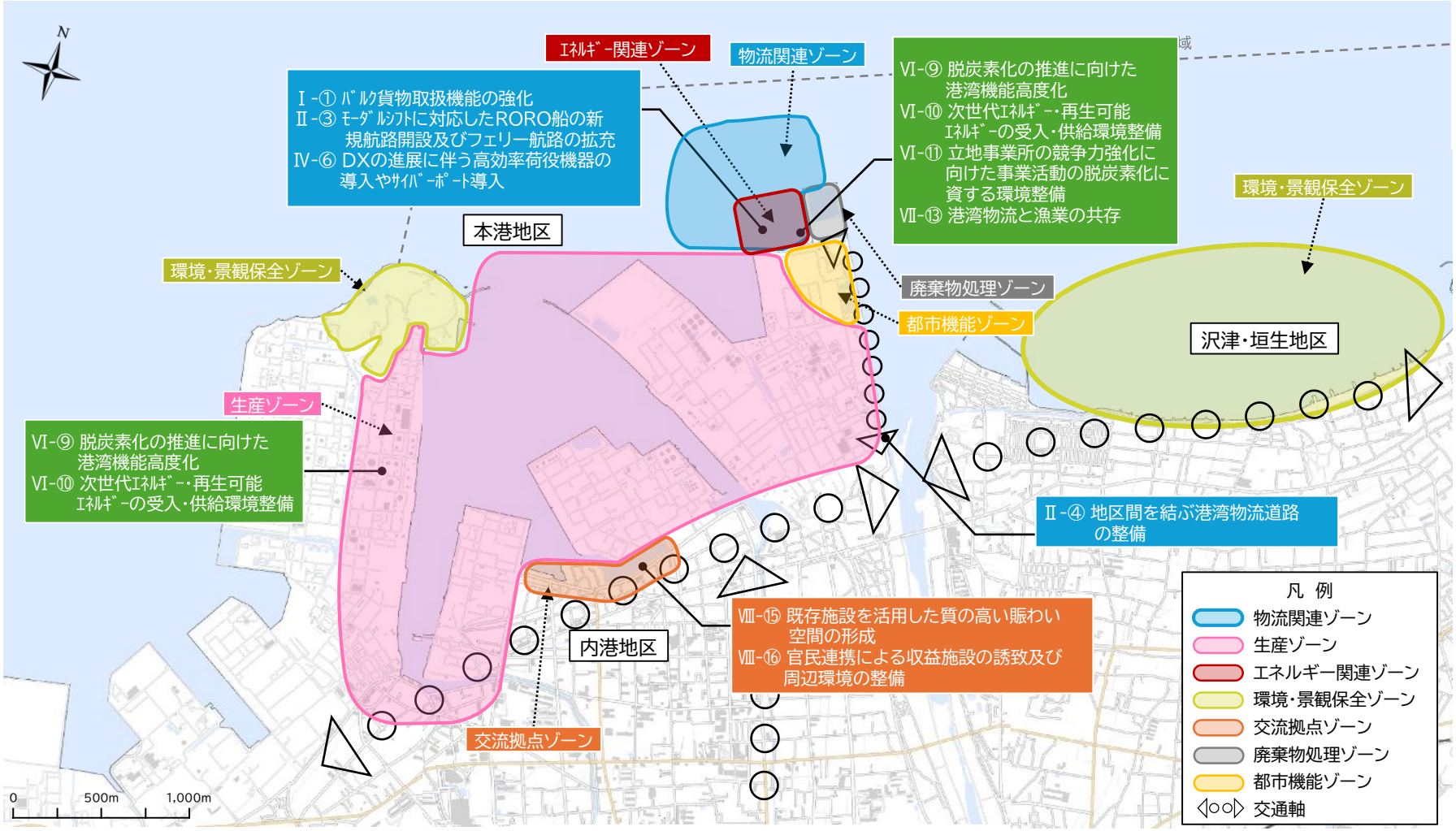
● 各戦略を検討するうえで、新居浜港内の5地区（本港地区、内港地区、東港地区、黒島地区、沢津・垣生地区）及び地区間の接続における整備方針を以下のように設定し、各整備方針に基づいた戦略・取組を検討した。



空間利用計画（ゾーニング）

① 地区別のゾーニングと取組展開（本港地区、内港地区）

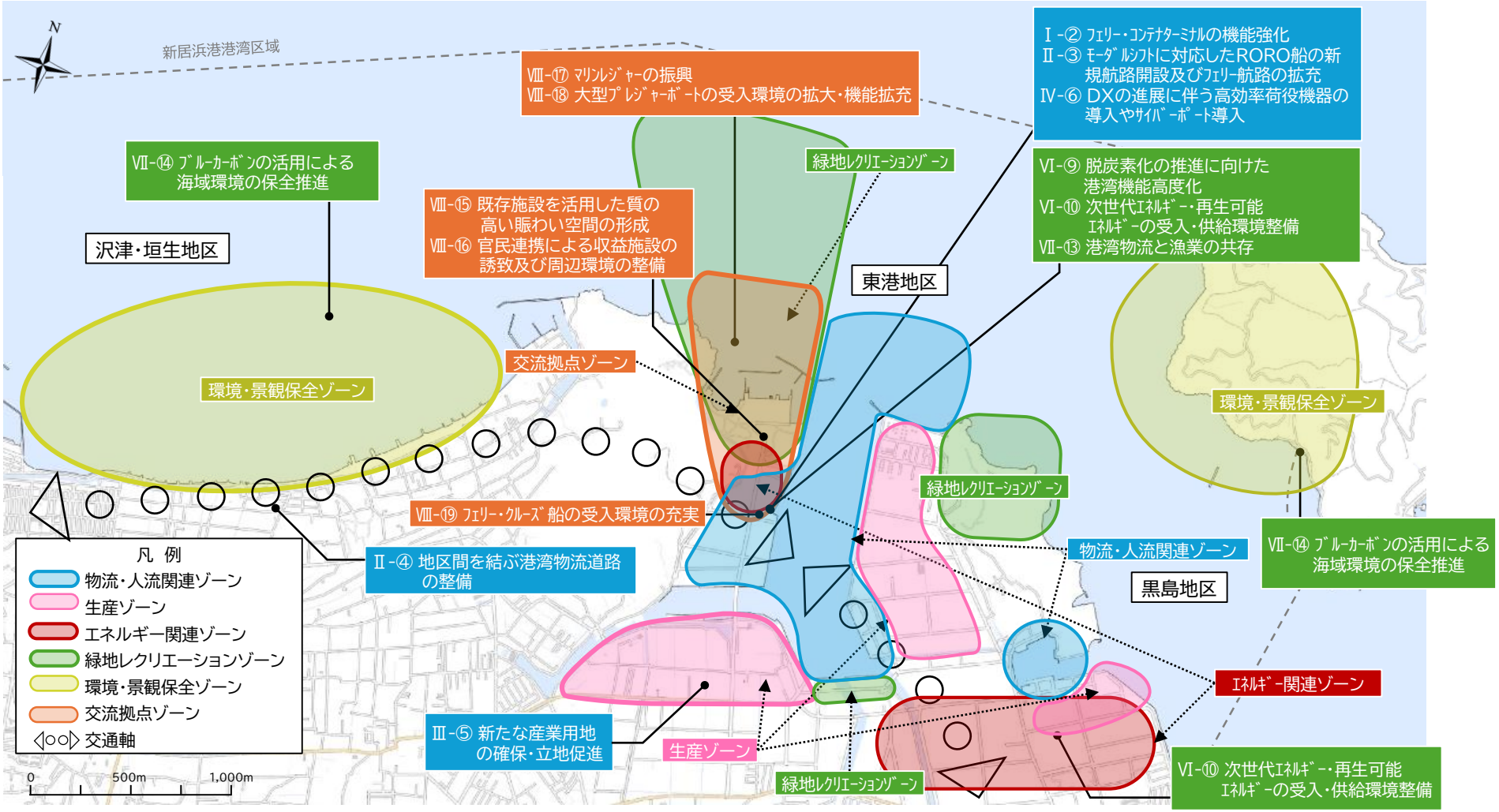
- 本港地区、内港地区では主に物流・産業に関する取組を進めるほか、脱炭素の実現に向けた次世代エネルギー等の受入供給拠点形成に関する取組を進める。



空間利用計画（ゾーニング）

② 地区別のゾーニングと取組展開（東港地区、黒島地区、沢津・垣生地区）

- 東港地区、黒島地区では主に物流・産業に関する取組を進めるほか、東港地区では観光・交流に関する取組を進める。
- 沢津・垣生地区では環境保全に向けた取組を進める。



各施策の取組みスケジュール

視点	戦略	具体的な取組内容	短・中期（10～20年）	長期（30年）	実施主体
物流・産業	将来像① 臨海工業・地域経済の持続的発展と国内外のシームレスな物流を支援する新居浜港				
	Ⅰ	① バルク貨物取扱機能の強化	整備	供用・更新	【実施】国・新居浜港務局 【支援・連携】愛媛県・新居浜市・各事業者等
		② フェリー・コンテナターミナルの機能強化	協議	運用・適宜見直し	
	Ⅱ	③ モーダルシフトに対応したRORO船の新規航路開設及びフェリー航路の拡充	協議	運用・適宜見直し	【実施】新居浜港務局・新居浜市・各事業者等 【支援・連携】国・愛媛県
		④ 地区間を結ぶ港湾物流道路の整備	将来ネットワークの検討	整備	【実施】国・新居浜港務局・新居浜市 【支援・連携】愛媛県
	Ⅲ	⑤ 新たな産業用地の確保・立地促進	協議	整備	【実施】新居浜港務局・各事業者等 【支援・連携】愛媛県・新居浜市
	Ⅳ	⑥ DXの進展に伴う高効率荷役機器の導入やサイバーポート導入	導入・運用		
	Ⅴ	⑦ 市民が港湾事業に触れる機会の拡大	実施		【実施】新居浜港務局・各事業者等 【支援・連携】国・愛媛県・新居浜市
		⑧ 港湾労働者や船員が働きやすい環境整備	協議	供用・更新	
視点	戦略	具体的な取組内容	短・中期（10～20年）	長期（30年）	実施主体
環境・エネルギー	将来像② 脱炭素に貢献し次世代へつなぐ新居浜港				
	Ⅵ	⑨ 脱炭素化の推進に向けた港湾機能高度化	導入・供用		【実施】新居浜港務局・各事業者等 【支援・連携】国・愛媛県・新居浜市
		⑩ 次世代エネルギー・再生可能エネルギーの受入・供給環境整備	整備	供用	
		⑪ 立地事業所等の競争力強化に向けた事業活動の脱炭素化に資する環境整備	整備	供用	
		⑫ リサイクル関連・カーボンリサイクルの推進に向けた産業立地の推進	整備	誘致	
	Ⅶ	⑬ 港湾物流と漁業の共存	適宜実施		【実施】新居浜港務局、関係漁協 【支援・連携】国・愛媛県・新居浜市
		⑭ ブルーカーボンの活用による海域環境の保全推進	適宜実施		
視点	戦略	具体的な取組内容			実施主体
観光・交流	将来像③ 瀬戸内の自然・産業・歴史をつなぎ、人々が集い、交流する新居浜港				
	Ⅷ	⑮ 既存施設を活用した質の高い賑わい空間の形成	既存施設の運用・更新		【実施】新居浜港務局・新居浜市 【支援・連携】国・愛媛県
		⑯ 官民連携による収益施設の誘致及び周辺環境の整備	協議	整備・運用	
		⑰ マリンレジャーの振興	情報発信・運用		
		⑱ 大型プレジャーボートの受入環境の拡大・機能拡充	協議	整備・運用	
		⑲ フェリー・クルーズ船の受入環境の充実	協議	整備・運用	
	Ⅸ	⑳ 観光交流拠点へのアクセスの更なる向上	協議	整備・運用	
		㉑ 観光マップや周遊モデルコースの作成・情報発信	情報発信・運用		
視点	戦略	具体的な取組内容			実施主体
防災・維持管理	将来像④ 強く、しなやかで、くらし・産業を支える強靭な新居浜港				
	Ⅹ	㉒ 気候変動や自然災害を考慮した港湾施設の整備	実施・適宜更新		【実施】新居浜港務局 【支援・連携】国・愛媛県・新居浜市・各事業者等
		㉓ 廃棄物処理空間の確保	検討	整備・運用	
		㉔ 新居浜港BCPの徹底	実施・適宜更新		
		㉕ 自治体・企業等との連携による関係者が一体となった防災対策	実施・適宜更新		
	Ⅺ	㉖ 戦略的な港湾施設の補修、更新、再編	維持管理・更新		【実施】新居浜港務局 【支援・連携】国・愛媛県・新居浜市

※優先度の高い取組は赤字で記載している。